

問1 古墳時代の中期ごろ、朝鮮半島から伝えられた技術によってつくられるようになった、高温の窯で焼かれた硬質の灰色の土器を何といいますか。 （2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 須恵器 2. 土師器 3. 弥生土器 4. 縄文土器

問2 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 （2024年 三重公立入試 類似）

1. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。
2. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
3. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。
4. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。

問3 5世紀の大和政権は、朝鮮半島から得た鉄資源をどのように活用して国内の支配を広げたとされていますか。当時の状況を説明したものとして最も適切なものを選んでください。 （2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 鉄製の武器や鎧を量産して軍事力を高め、関東から九州にかけての広範囲な地域の豪族を支配下に置いた。
2. 鉄製の鏡や装飾品を大量に作り、それらを各地の豪族に配ることで宗教的な権威を認めさせた。
3. 鉄製の貨幣を鑄造して全国に流通させ、租・庸・調の税制を確立することで経済的に支配した。
4. 鉄製の大型船を建造して中国の唐と直接貿易を行い、最新の法制度を取り入れることで中央集権化を進めた。

問4 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 （2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。
2. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。
3. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。
4. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。

問5 古墳時代のヤマト政権における、大王と豪族の関係性や政治の仕組みについて述べたものとして、正しいものはどれですか。 （2026年 和歌山公立入試 類似）

1. 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らを従えることで政権を運営した。
2. 大王はすべての豪族を武力で排除し、対等な関係を持つ勢力が存在しない独裁体制を築いた。
3. 大王は中国の皇帝から派遣された官僚であり、豪族の意見を聞かずに政治を行った。
4. 大王は宗教的な権威のみを持ち、実際の政治や軍事の権限はすべて豪族が握っていた。

問6 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 （2020年 三重公立入試 類似）

1. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。
2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。
3. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。
4. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。

問7 5世紀のヤマト王権の有力者たちは、当時の中国において、政治的な正当性や朝鮮半島での軍事的な立場を認めてもらうために使者を派遣しました。このとき、ヤマト王権が朝貢を行った中国の王朝の総称として正しいものを選択してください。 （2024年 三重公立入試 類似）

1. 南朝 2. 北朝 3. 隋 4. 唐

問8 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。 （2021年 島根公立入試 類似）

1. 遣隋使 2. 防人 3. 渡来人 4. 御家人

中学歴史プリント（過去問類似）

古墳時代

名前

得点

/9

問1 5世紀ごろ、朝鮮半島における勢力争いや戦乱を避けて日本列島へ移住し、須恵器の製作や金属加工、土木などの高度な技術、および漢字や儒教を伝えた人々を何と呼びますか。 （2026年 高知公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 倭寇 3. 朝鮮通信使 4. 防人

問2 滋賀県の子保利古墳群のように、この時期に築造された前方後円墳などの古墳文化は、当時の東アジア情勢と深く関わっています。4世紀末から5世紀にかけての、日本（倭）と朝鮮半島諸国との関係についての説明として正しいものを次から選びなさい。 （2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 高句麗の好太王（広開土王）の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている 2. 日本は新羅と強固な同盟を結び、高句麗を滅ぼして朝鮮半島北部に領土を広げた 3. 当時の日本は聖徳太子を中心に、隋に対して「日出づる処の天子」で始まる国書を送ることに専念し、半島情勢には介入しなかった 4. 日本は高句麗と連合して百済を攻め、その見返りとして仏教の公伝を受けた

問3 3世紀後半から6世紀にかけて、日本各地の有力な豪族の墓として築かれた古墳のうち、上空から見ると円形と方形（四角形）を組み合わせた鍵穴のような形をしている、日本独自の形式を何と呼びますか。 （2018年 大分県公立入試 類似）

1. 前方後円墳 2. 円墳 3. 方墳 4. 装飾古墳

問4 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 （2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 遣隋使 3. 防人 4. 御家人

問5 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌（きんぞうがん）によってある人物の名前が刻まれていました。この鉄剣に記されていた大王の名として正しいものを選びなさい。 （2024年 大阪公立入試 類似）

1. ワカタケル大王 2. 卑弥呼 3. 聖徳太子 4. 中大兄皇子

問6 5世紀から6世紀にかけて、日本列島には大陸から多くの人々が移り住みました。この時期の遺跡である前方後円墳などからは、円筒埴輪や人物埴輪とともに、高温の窯で焼かれた硬くて灰色をした土器が出土しています。この土器の製作技術を日本に伝え、さらに文字や儒教、仏教といった高度な文化をもたらした人々を何と呼びますか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 防人 3. 遣隋使 4. 語部

問7 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。 2. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。 3. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。 4. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。

問8 朝鮮半島における高句麗、百済、新羅の三国抗争期において、日本（倭）の動向や影響について説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。 （2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 朝鮮半島からの渡来人が、須恵器の製作技術や漢字、儒教などを日本に伝えた 2. 秦の始皇帝が派遣した軍隊と協力し、高句麗の南下を阻止した 3. ナポレオンの軍勢による混乱に乗じて、朝鮮半島全域を直接支配した 4. オランダとの貿易を優先するため、朝鮮半島諸国との国交をすべて断絶した

問9 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。 （2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 須恵器 2. 縄文土器 3. 弥生土器 4. 埴輪

問1 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 高句麗・百済・新羅 2. 魏・呉・蜀 3. 隋・唐・宋 4. 渤海・高麗・新羅

問2 島根県内の古墳調査において、鍵穴のような形をした古墳が存在する一方で、長方形を二つ繋ぎ合わせたような形状を持つ古墳や、単純な円形の古墳も確認されています。この「長方形を二つ繋ぎ合わせたような形状」を持つ古墳の形式として正しい名称を選びなさい。（2025年 島根公立入試 類似）

1. 前方後方墳 2. 上円下方墳 3. 八角墳 4. 双方中円墳

問3 大和政権の時代、大陸から移住してきた渡来人がもたらした技術や文化について述べたものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術 2. 唐の法律にならって作られた大宝律令などの統治制度 3. 九州沿岸を守るために配置された防人による防衛の仕組み 4. 遣隋使によって直接もたらされた、隋の進んだ政治制度

問4 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。

（2024年 鳥取公立入試 類似）

1. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。 2. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。 3. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。 4. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。

問5 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと 2. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと 3. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと 4. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと

問6 古墳時代を象徴する墓の形式で、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような独特の形状を特徴とし、大阪府にある日本最大の規模を誇る大仙古墳（伝仁徳天皇陵）にも採用されている名称を答えなさい。（2025年 島根公立入試 類似）

1. 前方後円墳 2. 前方後方墳 3. 円墳 4. 方墳

問7 古墳が作られていた時代に、中国大陸や朝鮮半島から移り住んできた人々が果たした役割について、技術や文化の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 岡山公立入試 類似）

1. 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。 2. 唐の優れた制度や文化を直接日本へ持ち帰るため、定期的に使節として派遣された。 3. 鉄砲やキリスト教を日本に伝え、ヨーロッパとの貿易（南蛮貿易）を主導した。 4. 九州北部の防備にあたりとともに、防人として東国から徴集された。

問8 古墳時代から奈良時代にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に新しい文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。（2023年 岡山公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 遣唐使 3. 南蛮人 4. 防人

問9 5世紀頃、ヤマト政権の王が中国の南朝へ使いを送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2020年 鳥取公立入試 類似）

1. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権の承認を得て、武器や農具の原料となる鉄資源を安定的に確保するため 2. 中国の進んだ律令制度を学び、仏教を公認することで、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため 3. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授かり、国内の豪族に対して自らの正当性を示すため 4. 白村江の戦いで敗れた後、唐との国交を回復し、大陸の最新文化や技術を積極的に導入するため

中学歴史プリント（過去問類似）

古墳時代

名前

得点

/8

問1 5世紀の大和政権は、朝鮮半島から得た鉄資源をどのように活用して国内の支配を広げたとされていますか。当時の状況を説明したものとして最も適切なものを選んでください。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- 鉄製の武器や鎧を量産して軍事力を高め、関東から九州にかけての広範囲な地域の豪族を支配下に置いた。
- 鉄製の鏡や装飾品を大量に作り、それらを各地の豪族に配ることで宗教的な権威を認めさせた。
- 鉄製の貨幣を鑄造して全国に流通させ、租・庸・調の税制を確立することで経済的に支配した。
- 鉄製の大型船を建造して中国の唐と直接貿易を行い、最新の法制度を取り入れることで中央集権化を進めた。

問2 「大陸の王朝の力を利用して国づくりをはじめた」とされる5世紀の倭の王について、当時の国際情勢と外交方針を述べた文として正しいものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

- 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた
- 聖徳太子が遣隋使を派遣し、中国の皇帝と対等な外交関係を築くことを目指した
- 元（モンゴル帝国）の侵攻に備えるため、高麗と協力して大陸の情報を収集した
- 足利義満が明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、勘合貿易を開始した

問3 5世紀ごろの古墳からは、鉄器の材料となる「鉄の延べ板」が数多く出土しており、朝鮮半島から移住してきた人々がもたらした技術の高さがうかがえます。これら渡来人が当時の日本（ヤマト王権）に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

- 鉄製の工具や農具の普及により、土木技術が向上し、巨大な古墳の造営や大規模な農地の開墾が可能になった。
- 遣隋使が派遣されたことで、中国の優れた官僚制度がそのまま導入され、即座に律令国家が完成した。
- 平城京を中心に商業が発展し、全国で和同開珎などの貨幣が日常的に使われる経済構造へと変化した。
- 仏教が初めて伝来したことにより、それまで行われていた古墳の築造が全国で一斉に禁止され、寺院建築に移行した。

問4 大阪府堺市に位置する、全長約486mにおよぶ日本最大の前方後円墳の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。

（2018年 熊本県公立入試 類似）

- 大仙古墳
- 吉野ヶ里遺跡
- 三内丸山遺跡
- 登呂遺跡

問5 5世紀頃、近畿地方を中心とする大和政権（ヤマト王権）の支配が各地に広がっていったことを示す資料として、大阪府にある大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築かれました。こうした時期に、地方の有力者の墓から出土したもので、大和政権の王の名称が刻まれていたとされる遺物はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

- 漢の皇帝から授けられたとされる金印
- 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀
- 近畿地方で多く見つかった銅鐸
- 装飾が施された石包丁

問6 5世紀後半のものとされる埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣や、熊本県江田船山古墳出土の鉄刀には、「ワカタケル大王」という名が刻まれています。この事実から推測される当時のヤマト政権の様子について、最も適切な説明はどれですか。（2026年 和歌山公立入試 類似）

- 大王の支配力が、関東地方から九州北部まで広範囲に及んでいた。
- 大王は奈良盆地周辺のみを治める、限定的な勢力に留まっていた。
- 各地の豪族が大王の許可なく、独自に大陸と外交を行っていた。
- 大王の地位は固定されておらず、各地の豪族が交代でその任に就いていた。

問7 大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。（2023年 高知県公立入試 類似）

- 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。
- 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。
- 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。
- 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。

問8 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- 鉄
- 銅
- 青銅
- 金

問1 5世紀のヤマト王権の有力者たちは、当時の中国において、政治的な正当性や朝鮮半島での軍事的な立場を認めてもらうために使者を派遣しました。このとき、ヤマト王権が朝貢を行った中国の王朝の総称として正しいものを選択してください。 （2024年

三重公立入試 類似）

1. 南朝 2. 北朝 3. 隋 4. 唐

問2 4世紀から5世紀にかけて、近畿地方を中心に誕生した「前方が方形で後方が円形」という特徴を持つ巨大な墳墓が、九州から東北地方まで広く分布するようになった歴史的背景について述べたものとして、最も適切な説明を選択してください。 （2019年

高山県公立入試 類似）

1. ヤマト王権の支配力や政治的な影響力が、近畿地方から日本各地へと拡大したため
2. 仏教の伝来によって、全国の豪族が共通の形式で墓を作る宗教的義務を負ったため
3. 大陸から渡来した人々が、自分たちの故郷で一般的だった墓の形を全国に広めたため
4. 各地の豪族が、ヤマト王権に対抗するために独自に巨大な墳墓を築くことを競い合ったため

問3 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。 （2020年 香川公立入試 類似）

1. 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。
2. 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。
3. 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。
4. 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。

問4 古墳時代の中期ごろ、朝鮮半島から伝えられた技術によってつくられるようになった、高温の窯で焼かれた硬質の灰色の土器を何といいますか。 （2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 須恵器 2. 土師器 3. 弥生土器 4. 縄文土器

問5 4世紀から5世紀にかけての古墳時代、大陸から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられた、青灰色で非常に硬い土器の名称を答えなさい。 （2023年 高知公立入試 類似）

1. 縄文土器 2. 弥生土器 3. 須恵器 4. 土師器

問6 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。 （2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと
2. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと
3. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと
4. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと

問7 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 （2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 高句麗・百済・新羅 2. 魏・呉・蜀 3. 隋・唐・宋 4. 渤海・高麗・新羅

問8 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。 （2026年 山形公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 縄文人 3. 弥生人 4. 防人

問9 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らがもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 （2019年 岡山公立入試 類似）

1. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。
2. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。
3. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。
4. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、卑弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。